

1. 医学部医学科教育

医学・医療の領域において、発生生物学や分子生物学の近年における進歩はめざましく、様々な疾病の克服に貢献している。一方、臓器の再生、臓器移植、体外受精、遺伝子治療など生命倫理の問題、さらには生命の尊厳などの問題に直面することになる。今後、先端医療の進歩とその制御とのバランスをどう考えるのかがますます大きな課題になることが予想される。医学教育の場でもプライマリケアから高度医療、さらには基礎研究まで、幅広く対応できる医療人を育成することが重要になる。本学では平成24年度から教養教育（従来の全学教育）の大幅な見直しが行われる。現在社会に必要とされる語学力はもちろんのこと、創造性、柔軟性、自立性、チームワーク力、コミュニケーション力、批判的思考力、自己管理能力など、特定の枠組みを超えてさまざまな状況の下で適用できる高次の技能の涵養を目指す。また教養教育の改革に伴い、平成24年度学部教育のカリキュラム見直しを行った。主な改変は以下の如くである。①入学初期に充実した専門教育の開始。②問題解決型教育であるチーム基盤型学習TBL（TEAM-BASED LEARNING）の導入。③臨床実習の充実（44週から52週へ期間を拡大）。④少人数による医学英語教育の充実（5年次への進級要件TOEIC750点の設定）。このカリキュラムの改変による教育効果を期待している。

（平成24年度 医学部長：松山俊文、教務委員長：伊藤 敬、学生委員長：中尾一彦、
入試委員長：吉浦孝一郎）

A. 教養教育

本学では自ら学び、考え、主張し、行動変革する素養の涵養を目指し平成24年度から教養教育の大幅な見直しを行った。教員から学生への一方的な知識の伝達ではなく、学生が主体的に参加する授業、課外での自学自修につながる主体的学びへの転換を図るため1年次の後期からモジュール科目が開始される。従来のように様々な科目から授業を選ぶのではなく、現代的な課題となっているテーマのもとに集められた授業科目群（これをモジュールと呼び）の中から興味のあるモジュールを一つ選び、それらを学習することによって、そのテーマに関する多面的な見方、考え方を身につけることができるようになる。したがって、専門分野とは異なる分野のモジュールを選んだ場合には、その分野にも造詣が深くなり、二つの専門分野の資質を身につけることができるようになる。必修単位数も30単位から40単位へ大幅に増加し、年間履修単位数の上限も学部により設定することとなった。新入生を対象に始まった少人数教育「教養ゼミナール（従来の教養セミナー）」は、新しいカリキュラムでもそのまま継続して学部で開講することとなった。

B. 専門教育

平成24年度の改革後も従来通り1年次では、教養教育授業日が週3日間、専門教育授業日が週2日間となった。従来の1年次専門教育「人間生物学」に加えて生化学や遺伝学、さらに組織学、解剖学の一部が2年次専門科目から1年次専門科目に移行した。また、「細胞生物学」「医学統計学」「原爆医学概論」「医学は長崎から」などは学部のモジュールとして教養教育へ移行した。長崎大学医学部医学科の特色ある教育である「医と社会」では、従来通り医学科・保健学科の共修の授業も企画した。また、新カリキュラムでは3年次、4年次に問題解決型教育であるチーム

基盤型学習TBL（TEAM-BASED LEARNING）を導入した。さらに国際的に活躍できる医師の養成を目指して少人数による医学英語教育を開始し、5年次への進級要件TOEIC750点を設定した。3年次のリサーチセミナーは、引き続き基礎教室に学生が配属され10週間にわたり配属教室のテーマについて研究活動が行われている。平成24年度の卒業生は105名で新卒者の国家試験合格率は90.5%であった。

C. 共用試験

本年度は昨年度と同様に「臨床実習開始前の共用試験」の問題作成と共用試験が行われた。共用試験とは、知識・技能・態度をコンピューター試験（CBT）と客観的臨床能力試験（OSCE）の二本立てで評価するものである。CBT実施に向けて本学にも問題作成が依頼され、CBT問題作成委員会を組織して問題作成及びそのブラッシュアップを行った。また、CBTは、共用試験実施機構からの派遣監督者の出席のもと、平成25年1月16日に実施し、再試験は2月21日に行われた。OSCEは、4年次後期科目「診断学」の試験として実施した。この共用試験は4年次から5年次への進級要件となっているが、受験者全員が最終的に合格した。

D. 第13回医学部医学科FDの実施について

平成24年度の医学部医学科FDは平成24年9月27日（木）、医学部医学科CBT室にて医学教育の充実及び向上を目的とし、TBL導入に向けたWeb Class活用、eラーニングを用いた授業改善に関して行われた。桑原宏永助教（長崎大学医学部先端医育支援センター）に「問題解決学習：PBLとTBL事前学習ツールとしてのWeb Class 活用」をテーマとする講演、松本 恵助教（長崎大学医学部先端医育支援センター）に「TBLにおける双方向授業支援システム（LENONシステム）の当科活用例」をテーマとする講演、古賀掲維准教授（長崎大学情報メディア基盤センター）に「eラーニングシステムの紹介と活用例～Web Class入門+iPortfolio Makerの紹介～」をテーマとする講演をお願いした。また参加者に対しては、演習を実施し、熱心な質疑が行われた。これらの講義及び演習内容が、本学医学教育の更なる改革に向けた有効な一手につながる事を祈念する。

（文責：医学部医学科 教務委員長 伊藤 敬）

表1 平成24年度 医学部医学科教員の教養教育への参画

A. 教養教育授業科目担当の医学部医学科教員

分野	授業科目名	担当教員	
必須科目	教養ゼミナール	安田 邦彦、中山 敏幸、黨 和夫、山崎 直哉、江石 清行、橋詰 浩二、磯本 一、赤澤 祐子、南 ひとみ、山本 善裕、中込 治、中込 とよ子、中村 茂樹、鈴間 潔、藤川 亜月茶、上松 聖典、江口 晋、山之内 孝彰、西田 暁史、森川 実、久保 嘉直	
モジュール科目	全学モジュール科目 先進医学と現代社会	人体の構造と機能	●弦本 敏行、蒔田 直昌、松本 逸郎、嶋田 敏生
		細胞と放射線	●永山 雄二、高村 昇、田中 邦彦、荻 朋男
		遺伝子と生命	●中島 正洋、鈴木 啓司、光武 範吏、三浦 史郎
	全学モジュール科目 心身と健康と生命	人体の構造と機能	●蒔田 直昌、松本 逸郎、嶋田 敏生、佐伯 和信
		栄養とは何か	●青柳 潔、安部 恵代、有馬 和彦
		遺伝子と生命	●吉浦 孝一郎、木下 晃、井原 誠、浦田 芳重
	全学モジュール科目 健康と共生	性と生	井川 掌
	全学モジュール科目 美と健康	ストレスと健康	松本 逸郎
	全学モジュール科目 健康と医療の安全・安心	健康と医療の安全・安心	●浜田 久之
	学部モジュール科目	人間生物学	●蒔田 直昌、森 望、小路 武彦、前村 浩二、北岡 隆、高橋 晴雄、宮崎 泰司、江口 晋、黒木 保、三浦 清徳、井川 掌、角川 智之、今村 圭文
		細胞生物学	●永山 雄二、小路 武彦、李 桃生、吉浦 孝一郎、光武 範吏
		医学は長崎から	●小路 武彦、篠原 一之、河野 茂、前田 隆浩、三根 真理子
原爆医学概論		●高村 昇、山下 俊一、中島 正洋、宮崎 泰司、塚崎 邦弘、三根 真理子、宇佐 俊郎	
医学統計学		●本多 正幸、三根 真理子、近藤 久義	

分野	授業科目名	担当教員
人間科学科目	生体の機能	丹羽 正美、池田 正行、澄川 耕二、高橋 晴雄、前村 浩二、宮崎 泰司、田中 邦彦、河野 浩章、隈上 秀高、清水 和宏、塚崎 邦弘、池田 聡司、中川 慎介、泉川 公一、上松 聖典、楢塚 大、富村 沙織
	生命の科学	伊藤 敬、宮崎 泰司、江口 晋、岡市 協生、鈴木 啓司、橋詰 浩二、水崎 博文、中川 武弥、相原 仁
	人間の科学	森 望、井川 掌
	生体の構造	小路 武彦、遠藤 大輔、宋 寧

B. 教養教育関連委員会の医学部医学科委員

委 員 会	委 員
教養教育実施専門部会	伊藤 敬
モジュール科目小委員会	安武 亨
	西田 教行
評価・FD教育改善専門部会	安武 亨

表2 平成24年度 1～6年次授業科目(系) 責任者

学年	授業科目	責任者	学年	授業科目	責任者
1 年 次	医と社会Ⅰ	安武 亨	3 年 次	循環器系	前村 浩二
	人間生物学	蒔田 直昌		呼吸器系	河野 茂
	生体分子系	伊藤 敬		血液・リンパ系	宮崎 泰司
	人体構造系Ⅰ	弦本 敏行		プレリサーチセミナー	伊藤 敬
	分子遺伝系	吉浦孝一郎		医学ゼミ	伊藤 敬
	神経・感覚器系Ⅰ	森 望		国際医療英語	伊藤 敬
	発生・組織系Ⅰ	小路 武彦	4 年 次	医と社会	安武 亨
	内臓機能・体液系Ⅰ	蒔田 直昌		脳・神経系	中村 龍文
	人体構造系Ⅰ	弦本 敏行		運動系	尾崎 誠
	プレリサーチセミナー	伊藤 敬		消化器系	中尾 一彦
	国際医療英語	伊藤 敬		腎泌尿器系	酒井 英樹
	地域医療ゼミ	前田 隆浩		生殖系	増崎 英明
		調 漸		視覚系	北岡 隆
	熱帯医学ゼミ	有吉 紅也		耳鼻咽喉口腔系	高橋 晴雄
医学ゼミ	伊藤 敬	免疫・アレルギー疾患系		川上 純	
医学英語	Luc Loosveldt	皮膚系		宇谷 厚志	
	Jim Briganti	精神系		小澤 寛樹	
2 年 次	医と社会	安武 亨		小児系	森内 浩幸
	人体構造系Ⅱ	弦本 敏行		感染症系	河野 茂
	神経・感覚器系	森 望		法医学系	池松 和哉
	発生・組織系	小路 武彦	診断学	大園 恵幸	
	動物性機能系	篠原 一之	放射線医学	上谷 雅孝	
	内臓機能・体液系	蒔田 直昌	臨床検査医学	柳原 克紀	
	生体分子系	伊藤 敬	外科治療学	江口 晋	
	分子遺伝系	吉浦孝一郎	社会医学系	榑 潔	
	プレリサーチセミナー	伊藤 敬	医学ゼミ	伊藤 敬	
	医学ゼミ	伊藤 敬	国際医療英語	伊藤 敬	
	国際医療英語	伊藤 敬	アドバンストリスサーチセミナー	池松 和哉	
	医学英語	Luc Loosveldt	5 年 次	臨床疫学・医療情報学	大園 恵幸・本多 正幸
		Jim Briganti		臨床薬理学	佐々木 均
	医と社会	安武 亨		内科総括講義	河野 茂
感染系	西田 教行	精神神経科総括講義		小澤 寛樹	
免疫系	由井 克之	小児科総括講義		森内 浩幸	
病理総論系	下川 功	外科総括講義		江口 晋	
腫瘍系	松山 俊文	整形外科総括講義		尾崎 誠	
分子病態系	永山 雄二	泌尿器科総括講義		酒井 英樹	
環境因子系	工藤 崇	眼科総括講義		北岡 隆	
薬理系	丹羽 正美	産婦人科総括講義		増崎 英明	
病理各論系	下川 功	脳神経外科総括講義		永田 泉	
リサーチセミナー	西田 教行	形成外科総括講義		平野 明喜	
内分泌・代謝・栄養系	川上 純	心臓血管外科総括講義		江石 清行	

学年	授 業 科 目	責 任 者
5 年 次	東洋医学	丹羽 正美
	総合病理学	田口 尚
	PBLチュートリアル	伊藤 敬
	臨床実習	上谷 雅孝
	国際医療英語	伊藤 敬
6 年 次	アドバンスリサーチセミナー	池松 和哉
	卒前集中講義	伊藤 敬
	高次臨床実習	大園 恵幸
	国際医療英語	伊藤 敬
	アドバンスリサーチセミナー	池松 和哉 蒔田 直昌 西田 教行

表3 平成24年度 後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
神経形態学 (第1解剖)	大山 恭司 森 望	神経シグナル制御因子と神経細胞のストレス耐性	2
	安田 邦彦 森 望	蛋白質の品質管理とオートファジー：神経変性、神経老化への関与を探る	2
肉眼解剖学 (第2解剖)	弦本 敏行 岡本 圭史 分部 哲秋 佐伯 和信	各種疾患に関する臨床解剖学的研究	4
組織解剖学 (第3解剖)	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔 宋 寧	鉄過剰摂取の肝再生過程への影響	1
	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔 宋 寧	熱ショック蛋白ノックアウトマウス精巣に於ける生殖細胞死誘導の解析	2
	小路 武彦 福田 智美 遠藤 大輔 宋 寧	臓器特異的miRNA産生と細胞動態への影響	2
分子生理学 (第1生理)	蒔田 直昌	遺伝性致死性不整脈の機能解析	2
	松本 逸郎	ストレスと発熱および摂食行動	1
神経生理学 (第2生理)	篠原 一之	香りが女性の認知情動機能に与える影響の解明	1
	藤澤 隆史	社会性および情動の発達と脳・内分泌機能の関連性	1
	西谷 正太	母性、父性の神経基盤の解明	2
	土居 裕和	視覚・嗅覚的情動関連刺激に対する脳生理学的応答の検証	2
生化学	相原 仁敬 伊藤 敬	ヒストンリン酸化と遺伝子発現	1
	水崎 博文 伊藤 敬	ヒストン変異と癌化	1
	中川 武弥 伊藤 敬	試験管内遺伝子転写メカニズム	1
	池原 強敬 伊藤 敬	ヒストン翻訳後修飾とグロビン遺伝子発現	1
	土井口 真康 伊藤 敬	培養細胞を用いた遺伝子転写メカニズム	1
	東伊藤 美樹 伊藤 敬	ヒストンリン酸化・脱ユビキチン化修飾と遺伝子発現制御機構	2
	薬理学	田中 邦彦	癌と炎症
中川 慎介		血液脳関門の機能	1

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
薬理学	巽 理 恵	ES/iPS細胞由来モデル細胞の作製	1
病理学 (第1病理)	下 川 功	ほ乳類の寿命制御におけるFoxO転写因子の役割	3
	森 亮 一	microRNA が司る高次生命現象の解明	2
	Seongioon Park	カロリー制限による老化制御：Neuropeptide Y シグナルを中心として	1
臨床病理学 (第2病理)	中 山 敏 幸	消化器腫瘍における増殖因子の発現の検討	2
	ナズニーンアリファ	Renal pathology	1
公衆衛生学	青 柳 潔	医療制度	1
	青 柳 潔	保健制度	1
	安 部 恵 代	ビタミンKと骨粗鬆症	1
	有 馬 和 彦	分子遺伝疫学：疾患と遺伝子多型	2
免疫学 (医動物学)	由 井 克 之	マラリア感染に対する免疫応答の生体イメージング	1
	本 間 季 里	Th2の分化と維持のメカニズム	1
	都 田 真 奈	マラリア感染における二次応答抑制機構の解明	1
	木 村 大 輔	CD4T細胞が産生する抑制性サイトカインとマラリア病態の相互関係	1
法 医 学	梅 原 敬 弘 池 松 和 哉 山 本 琢 磨	死後経過時間と蛋白質変性の関連について	1
	梅 原 敬 弘 池 松 和 哉 山 本 琢 磨	凍死診断法の確立	1
	梅 原 敬 弘 池 松 和 哉 山 本 琢 磨	突然死関連遺伝子の検索	1
	梅 原 敬 弘 池 松 和 哉 山 本 琢 磨	CPT2遺伝子の機能解析	1
原 研 病 理	松 山 睦 美 中 島 正 洋	甲状腺濾胞上皮の放射線応答に対する年齢影響について	1
	三 浦 史 郎	原爆被爆者腫瘍バンクの構築と核酸抽出	1
	七 條 和 子	放射線障害の分子病理学的検討	1
	松 田 勝 也 中 島 正 洋	ラットを用いた甲状腺放射線感受性の個体差研究	1
原 研 放 射	岡 市 協 生	p53によるマイクロRNAの発現制御	1
	井 原 誠	DNA損傷修復系の解析	1
	工 藤 崇	核医学医療画像の統計解析	1
原 研 幹 細 胞 (旧：原研生化)	李 桃 生	幹細胞の培養と性質評価	1
	浦 田 芳 重	幹細胞における抗酸化機構の特性	1
	後 藤 信 治	がん幹細胞マーカーの発現と抗がん剤耐性との関連性	1
	小 野 悠 介	骨格筋幹細胞	1

教室名	指導教官	研究テーマ	受講学生数
原研国際 (旧:原研疫学)	高村 昇	福島県における放射性核種分析と健康影響評価	3
	林田 直美	福島県における内部被ばく線量評価	1
原研遺伝	吉浦 孝一郎	次世代シーケンサーを使用した疾患ゲノム解析	2
	木下 晃	疾患原因遺伝子の機能解析	1
原研医療 (旧:原研細胞)	光武 範吏	甲状腺癌の基礎的研究	1
	鈴木 啓司	ライブイメージングによる低線量放射線影響の解明	1
	鈴木 啓司	放射線被ばく組織におけるDNA損傷の排除	1
	鈴木 啓司	甲状腺発がんの基盤的研究	1
	鈴木 啓司	G2アレストを標的とした放射線治療効果増強	1
	鈴木 啓司	メトフォルミンによる抗癌作用の基盤的研究	1
原研分子	永山 雄二	甲状腺癌幹細胞同定の研究	1
	永山 雄二 荻 朋男	色素性乾皮症、コケイン症候群、紫外線高感受性症候群等のDNA修復欠損性遺伝性疾患の臨床診断	1
	永山 雄二 蔵 重智美	甲状腺癌幹細胞におけるaldehyde dehydrogenaseの機能的意義の検討	1
感染防御	林 日出喜	ウイルス感染におけるIRFsの役割	2
	久保 嘉直	インターフェロンγによるHIV-1感染抑制メカニズムの解明	2
感染分子	新 竜一郎	アミロイド形成反応、とくにクロスシーディング反応の分子機構の解析	1
	佐藤 克也	神経変性疾患の新規バイオマーカーの探索	1
	石橋 大輔	プリオン病における自然免疫関連因子の分子生物学的意義の検討	2
	佐野 和憲	蛋白質の感染性とはなにか? リコンビナントプリオン蛋白を用いた検討	1
	森 剛志 西田 教行	プリオン病治療薬探索	1
	森 剛志 佐藤 克也	プリオン蛋白と癌	1
	分子疫学	中込 治 中込 とよ子	胃腸炎ウイルスの分子疫学
先導生命 比較動物医学分野	山中 仁木 大沢 一貴	実験動物から検出される微生物の性状解析	1
先導生命 アイソトープソース開発分野	松田 尚樹	細胞レベルでの内部被ばく影響の解析	1
	吉田 正博 松田 尚樹	内部被ばく線量測定の精度向上	1
先導生命 ゲノム機能解析分野	木住野 達也	TALENテクノロジーを用いたゲノム編集	1
	下崎 康治	遺伝子発現ベクターの構築と成体脳神経幹細胞の標識解析	1
熱研 ウイルス学分野	森田 公一 早坂 大輔	ウイルス性脳炎の免疫病原性解析	2

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
熱 新興感染症学	安 田 二 朗 黒 崎 陽 平 浦 田 秀 造	高病原性ウイルスに関する研究	1
熱 細菌学	中 野 政 之 平 山 壽 哉	ピロリ菌が産生するVacuolating cytotoxin (VacA)と胃病変形成の関連性について	1
熱 原虫学分野	中 澤 秀 介	マラリア伝播環境の変容と人獣共通感染性マラリアの出現の理解に向けた学際的研究	1
熱 免疫遺伝学分野	平 山 謙 二 ナシルシュアイブ	シャガス病モデルマウスの全身イメージング	1
熱 国際保健学	山 本 太 郎	ヒト白血病ウイルス-1型(HTLV-1) キャリアの多型分析	2
熱 病害動物学	皆 川 昇	マラリア媒介蚊及びデング熱媒介蚊の研究	1

表 4 A 平成 24 年度長崎大学医学部臨床実習協定締結施設

	施 設 名	協 定 年 月 日
1	長崎市立市民病院	平成 8 年 5 月 31 日
2	日本赤十字社 長崎原爆病院	平成 8 年 5 月 31 日
3	長崎市立病院成人病センター	平成 8 年 6 月 1 日
4	長崎県立大村病院	平成 8 年 6 月 1 日
5	社会福祉法人 長崎市障害福祉センター	平成 8 年 6 月 1 日
6	財団法人 長崎県総合保健センター	平成 8 年 6 月 1 日
7	医療法人春回会 長崎北病院	平成 10 年 5 月 20 日
8	江上耳鼻咽喉科医院	平成 11 年 5 月 31 日
9	医療法人祥仁会 西諫早病院	平成 12 年 6 月 19 日
10	医療法人白十字会 佐世保中央病院	平成 12 年 7 月 21 日
11	長崎市保健所	平成 12 年 11 月 24 日
12	医療法人友愛会 介護老人保健施設にしきの里	平成 12 年 11 月 24 日
13	医療法人清潮会 介護老人保健施設みどりの里	平成 12 年 11 月 24 日
14	日本海員掖済会 長崎病院	平成 13 年 5 月 11 日
15	阿南皮膚科医院	平成 13 年 5 月 11 日
16	医療法人北辰会 久保皮膚科医院	平成 13 年 5 月 11 日
17	国立療養所長崎病院	平成 13 年 5 月 11 日
18	ゆきなり・クリニック	平成 13 年 7 月 10 日
19	虹が丘病院	平成 13 年 8 月 7 日
20	医療法人昌生会 出口病院	平成 14 年 7 月 18 日
21	国立病院長崎医療センター	平成 15 年 6 月 12 日
22	佐世保市立総合病院	平成 16 年 8 月 1 日
23	長崎県五島保健所	平成 16 年 8 月 1 日
24	五島市国民健康保険三井楽診療所	平成 16 年 8 月 1 日
25	五島市国民健康保険玉之浦診療所	平成 16 年 8 月 1 日
26	岐宿町岐宿診療所	平成 16 年 8 月 1 日
27	山内診療所	平成 16 年 8 月 1 日
28	長崎県離島医療圏組合 五島中央病院	平成 16 年 8 月 1 日
29	長崎県離島医療圏組合 富江病院	平成 16 年 8 月 1 日
30	長崎県離島医療圏組合 奈留病院	平成 16 年 8 月 1 日
31	五島市健康政策課	平成 16 年 9 月 1 日
32	五島市社会福祉協議会福江支所	平成 16 年 9 月 1 日
33	離島医療圏組合 上五島病院	平成 17 年 9 月 1 日
34	小値賀町国民健康保険診療所	平成 17 年 9 月 1 日
35	上五島保健所	平成 17 年 9 月 1 日
36	新上五島町健康推進課	平成 17 年 9 月 1 日
37	新上五島町社会福祉協議会	平成 17 年 9 月 1 日
38	上五島保健所長	平成 18 年 7 月 5 日
39	長崎県離島医療圏組合 中対馬病院	平成 19 年 7 月 2 日
40	長崎県離島医療圏組合 上対馬病院	平成 19 年 7 月 2 日

	施 設 名	協 定 年 月 日
41	社会福祉法人幸生会特別養護老人ホーム わたづみ	平成19年7月2日
42	神田耳鼻咽喉科entクリニック	平成19年7月2日
43	重症心身障害児施設みさかえの園 むつみの家	平成19年7月2日
44	長崎県対馬保健所	平成19年7月2日
45	社団法人全国社会保険協会連合会健康保険諫早総合病院	平成19年7月2日
46	豊玉診療所	平成19年7月2日
47	長崎県離島医療圏組合 対馬いづはら病院	平成19年7月2日
48	東京都監察医務院	平成20年3月31日
49	宮崎内科医院	平成20年3月31日
50	医療法人衆和会 桜町クリニック	平成20年3月31日
51	宗教法人聖フランシスコ病院会 聖フランシスコ病院	平成20年3月31日
52	医療法人光善会 長崎百合野病院	平成20年3月31日
53	医療法人栄寿会 真珠園療養所	平成20年3月31日
54	三菱重工業(株)長崎造船所病院	平成20年3月31日
55	医療法人財団友朋会 嬉野温泉病院	平成20年3月31日
56	みちクリニック	平成20年3月31日
57	すがさきクリニック	平成20年3月31日
58	長崎市消防局	平成20年4月1日
59	三島眼科医院	平成20年6月1日
60	思案橋ツダ眼科医院	平成20年6月1日
61	和仁会病院	平成21年4月8日
62	北松中央病院	平成21年4月8日
63	ホーム・ホスピス中尾クリニック	平成21年4月22日
64	県央地域広域市町村圏組合	平成21年9月18日
65	長崎県対馬いづはら病院	平成22年4月14日
66	長崎県中対馬病院	平成22年4月14日
67	特定医療法人三校会 宮崎病院	平成22年4月14日
68	特別医療法人春回会 井上病院	平成22年4月14日
69	山根内科胃腸科医院	平成22年4月14日
70	医療法人谷川放射線科胃腸科医院	平成22年4月14日
71	医療法人社団健昌会 新里ネフロクリニック院	平成22年4月14日
72	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 済生会長崎病院	平成22年4月14日
73	医療法人清潮会 三和中央病院	平成22年4月14日
74	東京慈恵会医科大学	平成22年4月14日
75	長崎労災病院	平成23年5月1日
76	長崎県島原病院	平成23年5月1日

B. 平成 24 年度長崎大学医学部臨床教授一覧

称 号	氏 名	施 設 名
臨床教授	植 木 幸 孝	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨床教授	松 本 一 成	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨床教授	寺 田 馨	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨床教授	船 越 哲	医療法人衆和会長崎腎病院
臨床教授	三 島 一 晃	医療法人三島眼科医院
臨床教授	神 田 幸 彦	医療法人萌悠会 耳鼻咽喉科 神田 EN・T 医院
臨床教授	今 村 直 樹	医療法人良幸会思案橋ソダ眼科
臨床教授	榎 本 寛	医療法人和仁会和仁会病院
臨床教授	山 口 広 之	健康保険諫早総合病院
臨床教授	村 岡 昌 司	健康保険諫早総合病院
臨床教授	塚 田 敏 昭	健康保険諫早総合病院
臨床教授	西 浦 義 博	健康保険諫早総合病院
臨床教授	長 郷 国 彦	健康保険諫早総合病院
臨床教授	宿 輪 三 郎	三校会宮崎病院
臨床教授	福 田 雅 文	社会福祉法人聖家族会みさかえの園重症心身障害(児)施設むつみの家
臨床教授	近 藤 達 郎	社会福祉法人聖家族会みさかえの園重症心身障害(児)施設むつみの家
臨床教授	磯 本 一 郎	聖フランシスコ病院
臨床教授	東 山 康 仁	地方独立行政法人北松中央病院
臨床教授	佐 藤 聡	特別医療法人春回会長崎北病院
臨床教授	白 濱 敏	長崎県上五島病院
臨床教授	神 田 哲 郎	長崎県五島中央病院
臨床教授	古 井 純一郎	長崎県五島中央病院
臨床教授	波 多 史 朗	長崎県五島中央病院
臨床教授	小 幡 史 郎	長崎県島原病院
臨床教授	村 瀬 邦 彦	長崎県中対馬病院
臨床教授	小 西 宏 昭	長崎労災病院
臨床教授	福 崎 誠	長崎労災病院
臨床教授	寺 尾 嘉 彰	長崎労災病院
臨床教授	矢 部 嘉 浩	三菱重工業株式会社長崎造船所病院
臨床教授	千 葉 憲 哉	医療法人祥仁会西諫早病院
臨床教授	富 岡 勉	医療法人祥仁会西諫早病院
臨床教授	早 田 宏	佐世保市立総合病院
臨床教授	上之郷 眞木雄	佐世保市立総合病院
臨床教授	芦 澤 潔 人	済生会長崎病院
臨床教授	衛 藤 正 雄	済生会長崎病院
臨床教授	藤 下 晃	済生会長崎病院
臨床教授	中 山 大 介	済生会長崎病院
臨床教授	溝 上 明 成	長崎市立市民病院
臨床教授	井 上 啓 爾	長崎市立市民病院
臨床教授	藤 岡 ひかる	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	永 田 康 浩	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	前 田 茂 人	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	藤 岡 正 樹	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨床教授	木 下 郁 夫	日本赤十字社長崎原爆病院

称 号	氏 名	施 設 名
臨 床 教 授	中 島 宗 敏	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 教 授	鶴 崎 俊 文	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 准 教 授	小 関 弘 展	医療法人和仁会和仁会病院
臨 床 准 教 授	大 場 一 生	健康保険諫早総合病院